

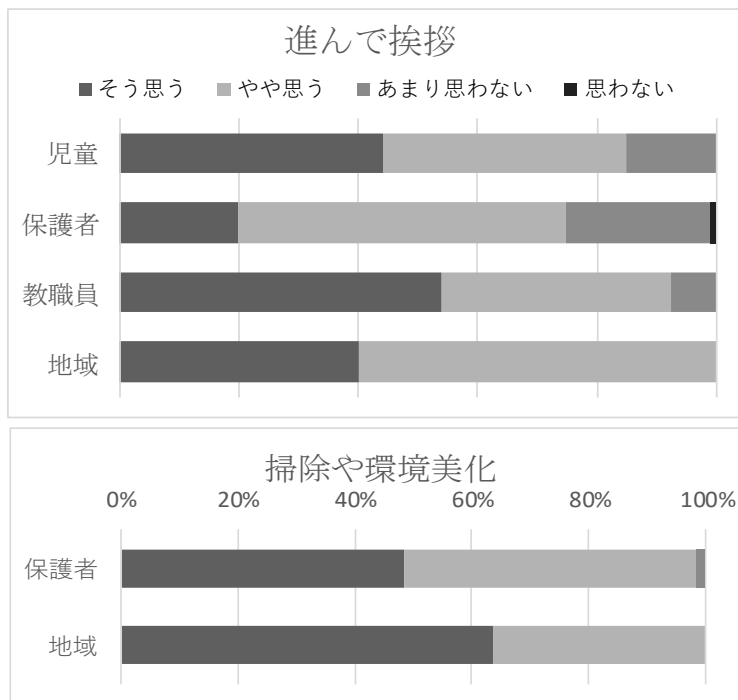
未来へ！

高知市立十津小学校
2023. 1. 23
第 34号

求める児童像

心豊かな子
自ら学ぶ子
たくましい子

学校評価アンケート結果について④



○ あいさつについて「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合を合わせると、74.8%～100%と四者間でばらつきがあります。特に「そう思う」の割合が保護者では19.8%と低くなっており、あいさつをしていないわけではないが、もう少し頑張ってもらいたいという思いが感じられます。児童の記述にも、

- ・もっと自分から挨拶をする
- ・挨拶運動をしたらいい

等の意見がありました。十津地域に挨拶の声がいっぱいになるよう、児童会やPTA、地域と学校が連携した挨拶運動に取り組んでみるのもいいかもしれません。

○ 環境美化について、児童、保護者から、老朽化した施設や遊具の安全管理についてのご意見をいただきました。予算とのかかわりもありますが、できることから取り組みを進めていきます。

○ 保護者の方の自由記述欄には、新型コロナウイルス対策についてのご意見やご質問が多くありました。

- ・学校内のコロナの感染状況についての情報を、可能な範囲でいただきたい。(他学年、組、教職員)
- ・給食の時、手洗いはしているがうがいをしていないと子どもから聞きました。今時期は、風邪やインフルエンザの流行の時期なので、再度徹底するよう先生方からもご指導いただくと助かります。
- ・対策は必要だと思いますが、マスクをずっとしている生活の方がリスクが高いと思います。マスクをするしないはお互い強要せず、自由にさせてほしいです。もちろん体調が悪い時などのマスクは必要だと思いますが……。多様性を認める社会、学校であるならば、マスクへの考えもいろいろあっていいと思います。
- ・以前娘より、教室の席の配置が近すぎるという訴えがありました。既往症のこともあってワクチンが打てないということもあり、不安なのだと思います。未だ打てない人の気持ちも察していただければと思います。

等、いろんなご意見がありました。ウイルスへの対応を要する生活を始めて3年以上になり、世の中がウィズコロナの考え方にシフトする中、多様な考えがあるのは当然のことです。そんな中、学校では感染を拡大させず、教育活動を継続していくことを最優先に考え、文部科学省、高知県教育委員会、高知市教育委員会の指針に基づき対応を継続していきます。以下に、現時点での具体的な対応例をお示しします。

- ◆ 感染者の状況については、例えば、学校内での感染拡大の可能性が考えられる場合で学級閉鎖や学年閉鎖等の措置をとる場合は当該学級の学年・学級の感染状況をお伝えするなど、大まかなことは知らせることはできますが、詳細は個人情報にかかわる部分もあるため、お伝えすることは控えさせていただきます。
- ◆ また、マスクの着用については、感染予防策を講じてマスクを外す場面を設定する、マスク着用が不要な場面において積極的に外すよう促すなど、活動場所や活動場面に応じたマスク着用の指導を継続します。
- ◆ 併せまして、報道等でご存じのとおり、飲食の場面では、机を向かい合わせにしない、大声での会話を控える、適切な換気の確保等、適切な感染防止策を講じた場合は、会話等を行うことは差し支えないとの通知がありました。しかし、大声の程度の判断があいまいで指導の徹底が難しい、現在の県内の感染状況では会話を控える方が感染対策として適している等の理由により、当分の間、給食中の会話を控えるよう指導していきます。

これまで取り組んできた感染予防の取組から大きく変更することはありません。基本的な対策にみんなで丁寧に取組ながら、教育活動の充実に努めてまいりたいと思います、引き続きご協力、よろしくお願いします。